

2010

1

目次

CONTENTS

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 協働のまちづくり
- 8 那珂町竹ノ内土地区画整理組合
竣工式 ほか
- 9 第5回那珂市文化祭
- 10 まちの話題
- 13 Information
- 14 さわやかさん、表紙の裏側 ほか



みんなでついたらお餅になったよ！（戸多幼稚園：防火餅つき会）

年頭のご挨拶



【那珂市長】

小宅 近昭

市民の皆様とともに考え共にまちづくりに取り組み魅力ある那珂市づくりを目指します

あけましておめでとございませう。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。

本市におきましては、「人にやさしく文化の香り高いまち」を第1次那珂市総合計画の将来像に掲げ、「住んで良かった」「これからも住みたい」と思える魅力あるまちづくりに積極的に取り組んでおります。しかし、昨今の厳しい経済情勢や少子高齢化、地方分権など社会状況は大きく変化してきており、市の財政についても、他の多くの自治体同様に非常に厳しい状況であります。

今後、複雑多様化する市民ニーズに的確に対応していくためには、市民と行政が責任と役割を分担しながら、共にまちづくりに取り組むことにより、魅力あるまちづくりが可能になると考えております。これらのことから、昨年は、協働のまちづくり検討委員会からの答申を受け、「那珂市協働のまちづくり指針」を策定いたしました。

さらには、上菅谷駅前土地画整理事業や上菅谷停車場線などの街路整備事業、瓜連中学校屋内運動場の建設事業、一中学区コミュニティセンター「ふれあいセンターこだい」の建設事業、市制施行5周年記念事

業等についても順調に進めることができました。これも偏に、市民の皆様方のご支援とご協力の賜であり深く感謝申し上げます。

新年度につきましては、菅谷市毛線等の街路整備事業や道路改良舗装事業などのほか、小中学校の耐震補強事業、それに加え、両宮排水路整備事業の工事着手を予定しております。これまで以上に気を引き締め、昨年3月に策定した「財政健全化プラン」に基づき、事務事業の必要性、緊急性及び費用対効果等について十分精査し、計画的なまちづくりを進めていかなければなりません。幸いにして那珂市は、すばらしい自然景観と首都圏からの交通利便性を有しております。この魅力を最大限に活かし、地域や産業の活性化を推進してまいりたいと考えております。

また、「市民が主役の行政」を一段と進め、市民の皆様とともに考え、汗を流し、誰もが愛着や誇りが持てる、魅力ある那珂市づくりにまい進する所存でございますので、市民の皆様より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸、そして本年がさらなる飛躍の年となりますことを心から祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

新春を迎えて
市長及び市議会議長から
年頭のご挨拶を申し上げます

迎春

行政

年頭のご挨拶



【那珂市議会議長】

加藤 直行

市民の皆様意向を十分に聴取し、より豊かな地域社会が実現するよう全力を尽くしてまいります

あけましておめでとございます。新春を迎えるにあたり、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日ごろより議会運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

私も議長就任以来、市政の進展と円滑なる議会運営のため、微力を捧げてきたところでございます。また、議会といたしましても、那珂市の均衡ある発展のため、各種施策について慎重に議論・審議を重ねてまいりました。新生那珂市が誕生してから5年が経過し、那珂市の明るい未来のさらなる発展を願っているところでございます。

この5年間を顧みますと、瓜連駅前整備、上菅谷駅前整備など、那珂市の顔づくりが着実に進展し、また、市民の皆様の長い間の念願でありました、市立図書館が完成し、昨年7月には入館者100万人を達成するなど、多くのかたに親しまれ、住みよいまちづくりを推進することができました。

しかし、政権交代後も国内情勢は相変わらず先行き不透明の状況となっており、今日の地方自治体を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や、少子高齢社会の到来などさまざまな課題に直面しております。

こうした厳しい環境を乗り越え、

心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、市民の皆様と協働しながら、自主的・主体的に自らの行政を行うことのできる地方自治を確立することがますます期待されております。

那珂市では「第1次那珂市総合計画」に基づき、環境の変化に適切かつ迅速に対応しながら、これからのまちづくりをより計画的に、具体的に進めてまいります。また、住民福祉の向上の施策を展開し、確実な財源措置を図るために、組織や事業の再点検を行い、効率的な行政運営への改善に努めてまいります。

これからの、地方議会の果たすべき役割はますます重要となっており、市民の皆様意向を十分に聴取し、効率のよい行政を念頭に、議会活動にまい進していくことが不可欠であると考えております。

那珂市議会といたしましては、安全で快適であり、活力と思いやりのある、より豊かな地域社会が実現するよう全力を尽くしてまいりますので、皆様のお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成22年

寅年



議会

協働のまちづくり

このコーナーでは、那珂市が推進しております「市民との協働のまちづくり」について、市民の皆様にご紹介していきます。

市は、協働のまちづくり指針について12月に、どのように協働を進めていくかという基本的な考え方を整理した指針を作成しましたので、その概要についてご紹介します。

指針の位置づけ

「第1次那珂市総合計画」では、まちづくりの基本理念の一つとして「市民とともに創る協働のまちづくり」を掲げ、これからのまちづくりは市と市民が一体となって進めていくという方向性を明確に示しています。

これらのことを踏まえ、市の協働の進め方の基本的な考え方を整理したものが「那珂市協働のまちづくり指針」であり、総合計画に基づきまちづくりを推進するにあたって、最も重要な指針となります。

なぜ今協働なのか

市が協働を進める主な社会的背景としては、次のようなものが挙げられます。

地域コミュニティ力の低下

都市化や少子高齢化などにより、

地域における人と人とのつながりが希薄化し、組合加入率は、ここ2年間で約15%減少しています。

地区別組合加入率の推移（各年5月1日現在）

地区名	年度	H19	H20	H21
神崎	加入率	77.40%	76.04%	75.12%
	組合員数	1,000人	950人	900人
額田	加入率	82.37%	81.81%	81.13%
	組合員数	1,200人	1,150人	1,100人
菅谷	加入率	65.71%	65.05%	64.32%
	組合員数	800人	780人	760人
五台	加入率	74.89%	74.49%	73.59%
	組合員数	1,100人	1,080人	1,060人
戸多	加入率	86.26%	85.92%	86.24%
	組合員数	1,300人	1,280人	1,260人
芳野	加入率	79.62%	79.26%	78.67%
	組合員数	1,050人	1,030人	1,010人
木崎	加入率	80.88%	80.86%	80.13%
	組合員数	1,150人	1,140人	1,130人
瓜連	加入率	87.14%	86.05%	85.17%
	組合員数	1,250人	1,200人	1,150人
市全体	加入率	75.11%	74.40%	73.63%
	組合員数	10,000人	9,500人	9,000人

社会構造の変化

少子高齢化、団塊の世代の大量退職などにより社会構造が大きく変化し、受益と負担のバランスが崩れ、これまでどおりの行政サービスを維持し続けていくことが困難になりつつあります。

本市においても、ここ2年間で生産年齢人口（15歳～64歳）が構成比で13%減少し、高齢者人口（65歳以上）は15%増加しています。

年齢別人口比の推移（各年4月1日現在）

年齢区分	年度	H19	H20	H21
0歳～14歳	人口	7,655人	7,612人	7,535人
	構成比	(13.6%)	(13.5%)	(13.4%)
15歳～64歳	人口	36,739人	36,297人	35,815人
	構成比	(65.0%)	(64.3%)	(63.7%)
65歳～	人口	12,099人	12,523人	12,911人
	構成比	(21.4%)	(22.2%)	(22.9%)
計	人口	56,493人	56,432人	56,261人
	構成比	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

行政を取り巻く環境の変化

市民の生き方、考え方などの多様化が、そのまま行政へのニーズの多様化に結びつき、また、地方分権による事務権限の委譲も進み、行政の役割が拡大しています。

市民意識の変化
自警団活動など、地域でできることは自らが考え行動しているという活動が広がっています。

これら社会情勢が大きく変化する中、「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを推進するためには、行政のみでは十分対応しきれないことが想定されます。市民と行政がそれぞれ持っている知恵や資源を持ち寄り、責任と役割を分担しながら、ともに汗を流して協働のまちづくりに取り組むことにより、魅力あるまちづくりが可能になります。

協働のまちづくりとは

協働とは、市、市民、市民自治組織、市民活動団体等が、自己の果たすべき役割と責任を自覚し、それぞれの立場や特性を認め、相互の信頼関係に基づき、対等の関係で地域の課題解決に連携協力して取り組むことをいいます。

市民主体	市民主導	市民 行政	行政主導	行政主体
市民が自発的に責任を持って活動する領域	市民が主導し、行政が協力して活動する領域	市民と行政がお互いの特性を活かし、協力しながら活動する領域	行政が主導し、市民が参加、協力して活動する領域	行政が主体的に責任を持って活動する領域
市民単独	協働の領域			行政単独
(趣味、宗教・政治、事業(営利)活動など)	環境美化、地域防犯など、市民単独、行政単独以外の活動			(税の賦課・徴収、生活保護、消防業務など)

つまり、協働のまちづくりとは、市と市民が、地域や市の課題解決にともに力を合わせて取り組むことをいいます。

協働の主体

市が協働のまちづくりを推進する主なパートナーは、次のとおりです。

市民

市内に住んでいるかたや勤務・通学しているかた(市外からの勤務・通学を含む)をいいます。

市民自治組織

現在の区のように、ある一定の地域に住んでいて、連帯感や協働意識を持ちながら、地域の発展や課題解決に向けて自主的な活動をする市民の集まりをいいます。

市民活動団体

営利を目的とせず、市民の自主的な意思に基づき、地域活性化を目指す公益的な活動を続けていく市民の集まりをいいます。

事業者

市内に事務所・事業所がある法人や個人をいいます。

市民活動団体の課題

現在、市で把握している市民活動団体は、主なものとして、地域安全分野で60団体、保健・医療・福祉分野では29団体となっており、合計で149団体が活動しています。

主な課題としては、人材や資金など活動資源の確保が困難になりつつあること
参加者の固定化や活動の硬直化が進んでいること
リーダーとなる人材が不足していることから、一部の人に負担が集中していること

協働のまちづくりは、行政経費の削減が目的ではありません。

協働の目的は、地域でできることは、市民自らが考え行動していくという市民自治の充実を図っていくことが最大の目的となります。同時に、市と市民等が地域や市の課題解決にともに力を合わせて取り組むことにより、地域の活性化が更に図れるものと考えています。

協働のまちづくりの考え方が広く市民に浸透し、市民等と協働で行う事業が増えてくることにより、市の役割も軽減され、結果として経費の削減や組織のスリム化につながっていくものと考えています。

市や市民とのコミュニケーションが不足していること
市民活動の活躍の場や活動機会の確保が困難になりつつあること
などが挙げられます。

協働のまちづくりは市役所の仕事を市民に押し付けることではありません。

「地域でできることは、市民自らが考え行う」ということが基本となりますが、市では、市民自治組織等に対する様々な支援策を考え、活動を支援していきます。また、市と自治会等が協働で行う事業については、自治会等からの提案に基づいて実施する場合と、市のほうから提案して実施する場合がありますが、市から提案する事業であっても、市と自治会等は対等の関係であり、それぞれの自主性・主体性を尊重することが重要です。当然市の考えで一方的にやっていたらとて、このことではなく、お互いの合意ができて初めて実施できるものと考えています。

区制度の課題

現在、市内71区は、市長委嘱による非常勤特別職公務員である区長、副区長、組合長を主な役員として運営されており、市の機関の一部といえます。

主な課題としては、
 区加入率が低下傾向にあること
 区加入者や役員が高齢化してきていること

役員の固定化や担い手が不足してきたこと
 人と人のつながりが希薄化してきたこと
 などが挙げられます。

協働の担い手の役割

協働の各主体で抱えている課題解決を図るためにも、それぞれがどういった役割を担っていくかは、次のとおりとなります。

市の役割

協働のまちづくり指針に則った、総合的、計画的な市政運営に努める
 政策形成にあたっては、広く市民の意見を反映させるため、市民参画の機会確保に努める
 市民、市民自治組織、市民活動団体等との連携を強化し、協働のまちづくりを推進する

市民の役割

まちづくりの主体であることを認識し、まちづくりに進んで参加、参画するよう努める
 市民自治組織に積極的に加入し、これを守り育てるよう努める

市民活動に関する理解を深め、その活動に参加、参画、または協力するよう努める

市民自治組織の役割

地域内の市民の参加、参画により、相互扶助の精神で地域の発展と課題解決に努める

市民活動団体の役割

適正な団体運営を行うとともに、活動が広く市民に理解されるよう努める

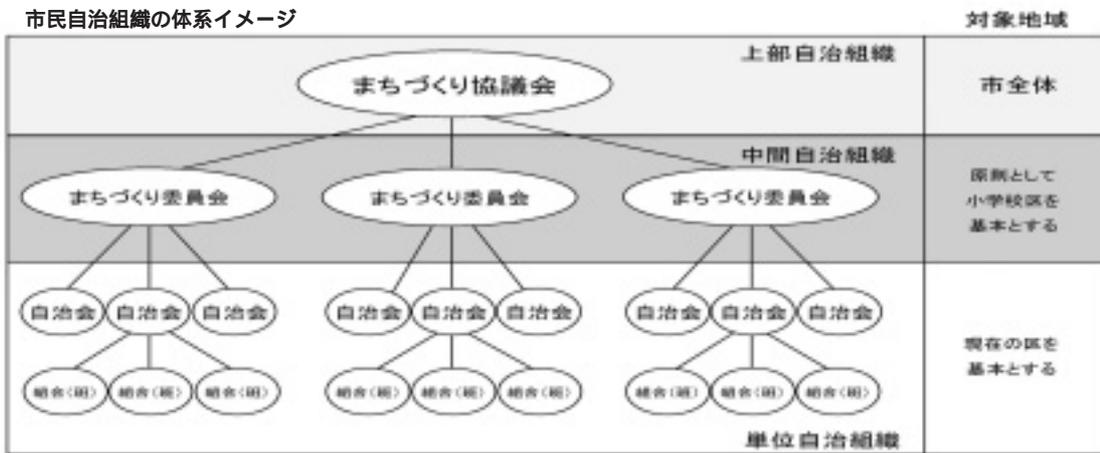
まちづくりの主体であることを認識し、まちづくりへの理解と協力に努める

市民自治組織の体系

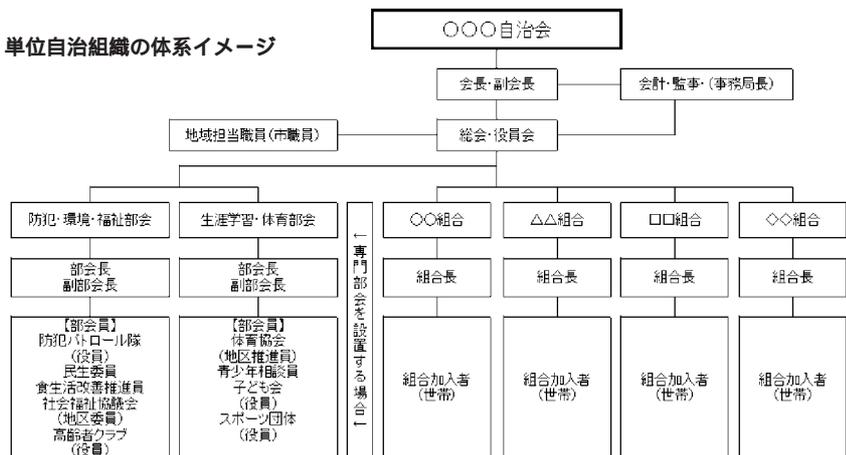
市が目指していく市民自治組織は、現在の区を基本とした「単位自治組織」、原則として小学校区を基本とした「中間自治組織」、市全域対象の「上部自治組織」の3つの層による構成とします。

また、中間自治組織は、自治会ばかりではなく、民生委員・児童委員、自主防災・防犯組織、体育協会や社

会福祉協議会の支部組織、その他多くの市民活動団体や事業者などを、対等の関係でネットワーク化した組織体制を目指していきます。



単位自治組織の体系イメージ



市民の最も身近な地域コミュニケーションである組合(班)という単位をとおして、日常的な交流や支え合いに結びつく活動を行います
 地域の様々な情報の回覧や市広報紙の配布など、情報の伝達、周知機能を担います

市民自治組織(3層)の役割

中間自治組織の体系イメージ



高齢者の生きがいづくりや見守り活動など、福祉的機能を担います
 防災、防犯や環境美化など、地域の日常的な課題解決に取り組みます
 行政への要望等の取りまとめや行政との連絡調整機能を担います

中間自治組織の役割

区域内の自治会や市民活動団体などとの交流や情報交換機能を担います
 区域内におけるまちづくりの共通目標を設定します
 区域内の共通課題の解決に取り組みます
 個々の自治会だけでは解決が難しい課題解決に取り組みます
 行政への要望等の取りまとめや行政との連絡調整機能を担います

上部自治組織の役割

中間自治組織間の交流や情報交換機能を担います
 中間自治組織と市内全域を活動域としている市民活動団体との連携や連絡調整機能を担います
 協働事業の企画立案を行います
 市へのまちづくり施策提言を行います

支援方針

協働のまちづくりへの取り組みが円滑に進められるよう、市民、市民自治組織、市民活動団体に対する市の支援方針を次のとおりとします。

対等性

協働において、市と市民、市民自治組織、市民活動団体、事業者は、それぞれが相互のパートナーであることを認識し、対等関係にあること。

共有性

目的や使命の異なる活動を行うパートナー同士が協働関係を成立させるために、意見交換、情報の共有などをとおして相互理解を深め、課題認識や達成目標が共有できること。

自主性

市は、地域課題に対し柔軟な対応ができる市民、市民自治組織、市民活動団体の特性である自主性・自発性を尊重すること。

自立化

市は、市民自治組織、市民活動団体が自立して事業を展開できるよう、また新たな活動が生まれ育つ環境が整備できるような支援を行うこと。

透明性

協働のまちづくりを推進するにあたって、市が持っている様々な情報の共有、公開に努めること。

支援のポイント

市は、前述の支援方針に基づき各種支援策を講じていきますが、どういったところに重点を置くかという、

自治活動や市民活動を支援するための活動拠点の整備や提供
 助成制度をはじめとする様々な自治活動や市民活動情報の提供
 人材発掘や団体運営の相談対応を含んだ人材育成
 創造性にあふれ活力ある活動により、地域の課題解決が図れる
 助成制度の充実
 自治会等の設立準備段階も含め、自治活動と行政とをつなぐパイプ役として市職員の地域担当制度の導入
 という柱を立て、具体的な各種支援策を講じていきます。
 各種支援策の考え方については、次回ご紹介いたします。

問い合わせ

市民活動課自治推進係

☎298・1111
 (内線484)

那珂町竹ノ内土地区画整理組合竣工式が開催

12月6日 中央公民館

12月6日、那珂町竹ノ内土地区画整理組合竣工式が中央公民館で開催され、同組合のかたがたをはじめ多くの来賓のかたがたの出席のもと、竹ノ内土地区画整理事業の竣工を祝いました。



写真

式典では、組合理事長の柏村豊さんが事業を振り返り感謝の気持ちを述べると(写真)小宅市長をはじめ来賓のかたがたから多くのお祝いの言葉が贈られました。(写真)

式典ではこのほか、スクリーンを用いて事業内容やこれまでの経緯が紹介されました。事業着手前の竹ノ内地区の写真と最近の様子が映し出されるなど、事業のあゆみの一つ一つに、竣工の日を迎えた皆さんは感慨深く聞き入っていました。(写真)



写真



写真

竹ノ内土地区画整理事業

竹ノ内土地区画整理事業は、平成3年に組合施行として事業に着手し、18年8か月の期間を経てこのたび事業を完了しました。この間、平成19年9月には換地処分に伴い、新町名として竹ノ内1丁目、2丁目、3丁目、4丁目に変更しています。

事業の概要

事業名称 水戸・勝田都市計画事業
竹ノ内土地区画整理事業
施行者 那珂町竹ノ内土地区画整理組合
施行期間 平成3年度～21年度
施行面積 38.3ヘクタール



間もなく
誕生します!

ひまわりスポーツクラブ

広報なか11月号にも掲載しました総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」が2月末の設立に向け、準備を進めています。

●ひまわりスポーツクラブとは?

子どもから大人まで世代を越え、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツや遊びをとおして、だれもが気軽に参加できるクラブです。

地域の皆さん自らが主役の自主運営クラブで、健康づくりとコミュニティづくりを目指します。

●種目 健康体操、ソフトバレーボール、スポーツ吹き矢、バドミントン

●年会費 大人 4,800円 小人 2,400円
(4月から翌年3月)

スポーツ保険料は別途必要です。

●活動場所

那珂総合公園、各コミュニティセンター等(予定)

●今後の予定

- ・会員募集 2月から
- ・設立総会 (日時) 2月28日(日)
(場所) 総合センターらぼーる
- ・活動開始 4月から



- ひまわりスポーツクラブは、4種目でスタートする予定ですが、今後、入会した皆さんの意見を反映し、いろいろな種目を取り入れながら魅力のあるクラブにしていきます。
- クラブ活動の日程、活動場所等の詳細については、広報なかおしらせ版で順次お知らせします。

●問い合わせ ひまわりスポーツクラブ運営委員会(生涯学習課スポーツ振興室内) ☎297-0077

那珂市市制施行5周年協賛事業
那珂市文化協会設立5周年記念

那珂市 文化祭

【第5回】

文化の花を
咲かせました



11月21日から23日までの3日間、中央公民館と総合センターら
ぼーるを会場に第5回那珂市文化
祭が華やかに開催されました。

この一年間、文化活動に取り組
んでこられた皆さんの活動成果が
ステージや教室、展示をとおして
披露され、訪れた多くの市民のか
たがたが文化、芸術、伝統が息づ
くこの文化祭を心ゆくまで楽しみ
ました。



主催／那珂市文化協会
後援／那珂市、那珂市教育委員会
Special Thanks
写真協力／那珂市文化協会写真部会

つくろようルールとマナーを守る町



夕暮れ時から夜間の交通事故防止と飲酒運転の根絶に重点を置き、12月1日から31日までの期間「年末の交通事故防止県民運動」として実施しました。また、11月30日には国道349バイパス杉原交差点、国道118号らぼーる入口交差点で、街頭キャンペーンを実施し、小宅市長はドライバーに啓発のチラシ等を配り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼びかけました。

第47回技能五輪で銀賞に入賞



第47回技能五輪全国大会で、大和田靖文さん(飯田)が技能職種理容で銀賞に入賞しました。競技内容4課題に2日間挑みました。大和田さんに大会中の感想について尋ねると、時間内におさめることが大変でしたが銀賞がとれて満足しています。また、今後の抱負については、「これからも違うコンクールに出場し上位を目指し将来的には自分の店を持ちたいです」と熱く語ってくださいました。

地元産野菜で身も心もあつたかに



11月21日、芳野市民農園利用者、芳野農産物直売所組合員、芳野まちづくり協議会が芳野農産工房で第1回芋煮会を開催し、あつたかい芋煮を囲み交流を図りました。この芋煮は、市民農園で収穫された里芋と地元で生産された野菜を使用したもので、その風味のよさから農産物直売所を訪れたかたにも大好評。那珂市産野菜のおいしさを改めて知ってもらうよい機会にもなりました。

まちに潤いを！なかなか塾が美化活動



11月28日、茨城県道路里親認定団体の「なかなか塾」の皆さんが、水戸農業高校、那珂高校、なるみ園の皆さんとともに那珂インター付近の花壇に3千本の花の苗を植えました。「花いっぱい運動定着化促進事業」でも認定を受ける同塾は、法人、個人の賛助会員の支援を大切にします。この日は、晩秋に咲くひまわりも花開き、さらに美しい風景を生み出していました。

「出張！なんでも鑑定団in那珂」公開収録



11月23日、総合センターらぼーるで市制施行5周年事業として、テレビ東京系列「なんでも鑑定団」の出張鑑定公開収録が行われました。
テレビでお馴染みの鑑定士、永井龍之介さん、安河内眞美さん、中島誠之助さんが訪れ、焼き物や掛け軸など6点のお宝を鋭い目で鑑定。展開の読めない鑑定結果に、会場は大いに盛り上がりを見せました。この公開収録は、2月23日(火)に放送されます。

戸崎子供を守ろう会が懇談会で意見交換



登下校時のパトロールや通学路の草払い、祭りの警備などで幅広く活動している「戸崎地区子供を守ろう会」が11月25日、これからの活動に生かしていこうと、教育長、警察、学校、子供会育成会等と意見交換する懇談会を開きました。今後の活動の在り方や活動をとおして顕在化した課題について協議しあった皆さん。これからもゆとりを持った息の長い活動を継続することを確認しました。

絵画と写真の作品を堪能しました



那珂市文化財愛護協会の第3回公開研修会が11月20日、中央公民館で開催され、郷土の画人宇佐美太奇と子の写真師宇佐美竹城について、ご子孫である県立農業大学校講師の宇佐美健一氏が講演を行いました。繊細なタッチでリアルに表現された太奇の花鳥風月の絵画と竹城の撮った借楽園、水戸城大手門など幕末・明治期の写真が紹介され、参加者は実物の迫力に感動していました。

ボランティアできれいなまちづくり



シルバー人材センターの会員のかたがたが、市内で清掃ボランティア活動を行いました。この活動は「シルバーの日」事業の一環として毎年この時期に実施されています。「自分たちのまちをきれいにしよう」と那珂地区会員の皆さんが11月17日に宮の池公園と一の関ため池親水公園で、瓜連地区会員の皆さんが18日に古徳沼周辺でそれぞれ吸い殻や紙くず、空き缶などを熱心に拾い集めました。



ヘルスメイトさんが作る健康料理⑤

鮭のミルク粕汁

材料（4人分）	
大根.....	120 g
人参.....	40 g
ごぼう.....	20 g
里芋.....	80 g
しいたけ(しめじ).....	40 g
ねぎ.....	50 g
こんにゃく.....	20 g
ちくわ.....	20 g
油揚げ.....	20 g
甘塩鮭.....	80 g
白菜.....	50 g
酒粕.....	40 g
味噌.....	40 g
だし汁.....	720ml
牛乳.....	300ml

作り方

大根、人参はいちょう切りに、里芋は食べやすい大きさに切る。ごぼうはささがきにし、水につけて灰汁を取る。(A)

ねぎは1cm位のぶつ切りにする。

こんにゃくはゆでてあく抜きをし細切りに、しいたけ、ちくわ、白菜も細切りにする。鮭は食べやすい大きさに切る。(B) 酒粕は、だし汁と酒を少々入れて柔らかくしておく。

鍋に、だし汁とAを入れて火にかけ、根菜に火が通ったら、Bを入れ野菜が煮えたらねぎを加え、最後に味噌を酒粕を入れ、牛乳を加えて火を通す。

今月のヘルスメイトさん

那珂市食生活改善推進員連絡協議会

石川昌恵さん 瓜連(子ども食部会)

材料は冷蔵庫に残っているものを自由に使って、レシピの材料にこだわらず作ってください。粕汁は体の芯から温まり、味噌との相性もパッチリです。牛乳を加えることによって味がまるやかになり、酒粕が苦手なかたでもいただけると思います。

おめでとうございます

和田勝一さんに緑白綬有功章



和田勝一さん(瓜連)が社団法人大日本農会(総裁・桂宮宜仁親王殿下)から平成21年度農事功績者として「緑白綬有功章」を受章されました。

和田さんの永年にわたる稲作経営での農事改良等の実績と地域農業への貢献が今回の受章に結びつきました。

平野照夫さんに感謝状



10月18日の統計の日にちなみ、平成21年度農林水産大臣感謝状受賞者が発表され、市内では、特別協力者として平野照夫さん(菅谷)が受賞されました。平野さんは18年6か月間の永きにわたり、米調査基準筆調査農家として協力され、農林水産統計業務の推進に貢献されました。

消防本部NEWS!

消防団に最新消防ポンプ積載車を配備

消防団第3分団第2部(額田東郷) 第4分団第3部(北酒出) 第9分団第1部(古徳) 配備の消防ポンプ積載車が老朽化したことに伴い11月30日、新型車両(各1台)が引き渡されました。

この車両は、各種災害に対処できるよう最新型のポンプと自動昇降装置などを備えた車両です。この車両の配備により、地域を守る消防団の消防力の強化が図られることとなります。



西消防署に高規格救急車を配備

市消防本部西消防署に最新型の救急用資機材を搭載した高規格救急車1台を配備しました。

この救急車は11月30日から救急救命の現場で活用されています。





【俳句】瓜連かつらぎ俳句会

夕暮れのいつときの照り木守柿
鐘の音の余韻呑み込み秋夕日
登り行く程にあざやか紅葉かな
芒原夕日に映える家二軒
丹精の慈愛幾度の菊花展
恋そだつ菊人形の裾乱す
赴任地え母が教える菊なます
栗ひとつ姑ははにと剥きて又ひとつ
石路の花首接なまがれた辻地蔵う
柿落とすナイスキヤッチの妻の声
七五三抱かれて鳴らす神の鈴
覗のぞきこむ骨董市や懐手

眞崎 井坂 光位 一耕
井坂 原富 久位
栗原 静風
埴野 静風
萩野 三風
鈴木 三風
木内 晴絵
栗原 三枝
堀口 泉流
長谷川 和希子
飯島 力子
秋野 三峰

【短歌】ときわ短歌会

力なく紋白蝶飛び暮さがりコスモスしどろに畑に横たふ
百万本のバラの花束贈らむと銀座巡りて、そをみつけたり
下北の冬にむかひし食堂のしじみラーメンに箸つかれする
手作りの祝着孫に着せ終えて互いの帯を嫁としめ合う
バターつけベークドポテトほおれば北の大地の味が広がる
マフラーをかぶりて流れ星探す帰りの遅き吾子を待ちつつ
「騒音の百里基地にも来てくれや」護憲に集う老婆の願い
蜘蛛の網の数多張らるる木の蔭を去りもやらずに豆娘まめむすめ棲む
汲み置きひき置きの桶に張りたる初氷に触れて生気を取り戻したり
対向のライト眩しく目を伏せしその危うさに脈のはやまる

川上 恵美子
やまとちずる
海野 宏幸
梅沢 悦子
山屋 勝代
武田 八重子
仲沢 照美
加藤 照美
阿部 幸子
片岡 明子

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- すこやかな心と体をつくりましょう
- 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 助け合い思いやる心をもちましょう
- きまりを守り安全を心がけましょう
- 自然を愛し資源をいかしましょう

法律相談

日時 / 2月9日(火)13:00~17:00
2月16日(火)13:00~16:00
場所 / 市役所(本庁)1階 相談室
相談員 / 弁護士
申込方法 / 事前に次まで予約してください。
申し込み・問い合わせ /
市秘書課市民相談室
☎298 - 1111 内線117

部局や公共職業安定所、
いばらき就職支援セン
ター等の国・県等関係機
関を紹介します。

問い合わせ /
市商工観光課商工係
☎298 - 1111 内線243

那珂市の人口・今月の納税

* 人の動き *

那珂市の人口(12月1日現在)
()内は前月比
男 27,657人 (-25)
女 28,500人 (-15)
計 56,157人 (-40)
世帯数 20,683世帯 (+13)

出生 25人
死亡 44人 (11月1日~30日)

* 今月の納税 *

市県民税(普通徴収) 4期
国民健康保険税(普通徴収) 7期
後期高齢者医療保険料(普通徴収) 7期

納期限: 2月1日

市税の納付は口座振替で
市税の納付には、便利で確
実な口座振替制度があります
ので、どうぞご利用ください。
詳細については、下記まで
お問い合わせください。
問い合わせ / 市収納課収納係
☎298 - 1111 内線172・173

心配ごと相談

日時 / 2月3日(水) 10日(水)
17日(水) 24日(水)
いずれも9:00~15:00
場所・問い合わせ /
那珂市社会福祉協議会(市総合保
健福祉センター「ひだまり」内)
☎298 - 8881

緊急雇用相談窓口の 設置期間延長

深刻な経済状況の影響により離職を余儀なくされたかたの相談窓口として、緊急雇用相談窓口を設置しています。今後も県内の雇用情勢は大変厳しいことが予想されることから、緊急雇用相談窓口の設置期間を延長します。

日時 3月31日(水)まで
8:30~17:15
土・日曜日、祝日を除く
場所 商工観光課内(本庁2階)
内容 ハローワーク提供求人情報の提供 / 市臨時職員等募集情報の提供
必要に応じて市の関係



松本 美紀さん(21歳) 菅谷

かわやかさん 60

私は現在、公共の宿泊施設に勤務しています。料理を配膳したり、客室を整えたりと毎日忙しい日々を過ごしています。人と話すことが好きな私は、学生の中から接客業に就きたいと考えていました。希望の職種に就けた今、お客様に楽しんで帰ってもらいたいという気持ちを大切に接客にあたっています。

この仕事をしていて一番うれしいときは、「丁寧に対応してくれてありがとう」などとお客様から声をかけてもらえたときです。

この仕事を選んでよかったと思うと同時に、これからも頑張らなくてはと励みになっています。

休暇がとれば、千波湖や偕楽園などでのんびりと散策を楽しんでいます。景色を眺めながら歩くとリフレッシュできるのでよく友達と一緒に出かけています。

これからはさらに経験を積んで、足りない部分を補いながら、もっと心配りができるようにになりたいです。そのために今年も一歩一歩、努力していきたいと思っています。

さらに心配りできるよう頑張っていきます

これからもたくさんの笑顔をふりまいてね



いちか 船橋一花ちゃん 1/13 生まれ
父・一也さん 母・真弓さん(額田南郷)

元気に育ってね



えいしん 鈴木瑛心くん 1/21 生まれ
父・勝之さん 母・由美さん(菅谷)

いつまでもみんなのアイドルでいてね



きらと 川又煌翔くん 1/31 生まれ
父・昭宏さん 母・真由美さん(菅谷)

HAPPY BIRTHDAY!!



はじめてのたんじょうび

ーご家族からのメッセージー



表紙の裏側

よいしょー！おいしいお餅になぁ〜れ♪(防火餅つき会)

12月3日、戸多幼稚園で防火餅つき会が行われました。

子どもたちは、火の扱いの大切さを消防士の人たちから教わった後、餅つきを体験しました。つきたての熱々のお餅は「甘くておい

しい！」と大絶賛。神様用のお供えを作り、海苔に巻いたり、きなこ、あんこを絡めて食べました。今年度限りで閉園を迎える戸多幼稚園に元気な掛け声が響き、楽しい餅つき会となりました。

